

資料2 事務事業評価(自己評価)結果

事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図						今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性
05054	市営住宅入居者	市営住宅が快適に生活できる環境を図る						-	・老朽化した住宅が多く、維持修繕の現場確認が増加傾向にあるが、職員数の減少で対応がむづかしく担当課で対応を。	縮小を検討する
事業名										
市営住宅の維持管理業務(津田支所)	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)					
	入居相談・入退去受付・家賃収納・滞納整理業務	件	40	68		計画	実績			
所管課					総コスト	5,050	4,350			
					直接事業費	0	0			
津田支所					人件費	5,050	4,350			
	数値化できない成果				特定財源	0	0			
					一般財源	5,050	4,350			
05060	市営住宅入居者	市営住宅で快適に生活できるよう居住環境の維持を図る						-	市営住宅には老朽化している建物が多く、入居者が出た後空家になっている。治安上もよくないので対策を検討しなければならない。	継続する
事業名										
市営住宅の維持管理業務(大川支所)	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)					
	入居相談・入退去受付・家賃収納・滞納整理業務	件	30	25		計画	実績			
所管課	住宅の管理・修理業務	件	40	30	総コスト	5,527	4,216			
					直接事業費	0	0			
大川支所					人件費	5,527	4,216			
	数値化できない成果	入居者から相談を受けた内容の確認と迅速な対応により、市営住宅の居住環境の維持を図る			特定財源	0	0			
					一般財源	5,527	4,216			
05073	市営住宅入居者	市営住宅が快適に生活できる環境を図る						-	本庁所管課業務へ移行する方向で検討していく。	他事業との統合を検討する
事業名										
市営住宅の維持管理業務(寒川支所)	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)					
	市営住宅の入居申し込み受付業務	件	12	16		計画	実績			
所管課	市営住宅の管理・修理業務	件	200	200	総コスト	6,281	2,227			
					直接事業費	0	0			
寒川支所					人件費	6,281	2,227			
	数値化できない成果				特定財源	0	0			
					一般財源	6,281	2,227			
05084	市営住宅入居者	市営住宅の快適な生活環境の維持管理を図る。						-	・職員数の減少が見込まれる中で、事務分担の統合を検討する必要がある。	他事業との統合を検討する
事業名										
市営住宅の維持管理業務(長尾支所)	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)					
	入居相談・入退去受付・家賃収納・滞納整理業務件数	件	60	65		計画	実績			
所管課	住宅の管理・修理業務件数	件	20	20	総コスト	1,071	2,498			
					直接事業費	0	0			
長尾支所					人件費	1,071	2,498			
	数値化できない成果				特定財源	0	0			
					一般財源	1,071	2,498			
05254	漁港施設利用者	漁港区域内における漁港施設の維持、保全並びに施設利用について適切な管理運営を図る。						-	香川県においては、県管理港湾のプレジャーボートの使用料の徴収及び放置艇の規制を順次、行なうこととしていることから市管理漁港での放置艇に対する規制をするなど、適正な施設管理が必要なことから、漁港管理条例の一部改正をしていく。	継続する
事業名										
漁港管理事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)					
	漁港施設の維持管理工事件数	件	3	2		計画	実績			
所管課					総コスト	8,765	8,281			
					直接事業費	4,876	4,427			
農林水産課					人件費	3,889	3,854			
	数値化できない成果	事業による事故の減少及び利用者の増加			特定財源	471	471			
					一般財源	8,294	7,810			

資料2 事務事業評価(自己評価)結果

事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図						今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性
05301	市営住宅入居者及び入居希望者	市営住宅の入退去に際し、適正な事務を図る。また住宅使用料等の収納率の向上を目指す。						修繕費削減のため、市営住宅ストック計画に基づく住宅の統廃合を進めていきたい。 使用料徴収事務については、粘り強く交渉し徴収率を上げたい。	耐用年数が経過している住宅について、安全性はもちろんとして入居者の意向等に配慮しながら、さぬき市営住宅ストック総合計画を基本に用途廃止を進める。また、使用料の収納率の向上に努める。	継続する
事業名										
市営住宅管理事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績			
	住宅使用料等の収納率(現年度分)	%	96.0	93.0						
	住宅使用料等の収納率(過年度分)	%	30.0	21.0	総コスト	38,383	36,599			
所管課					直接事業費	26,946	25,162			
都市計画課					人件費	11,437	11,437			
					特定財源	26,946	25,162			
					一般財源	11,437	11,437			
05304	通勤、通学、通院を目的としたバス利用者、生活上移動手段を確保するためのバス利用者等及び利用者以外の市民等	バス利用者の目的を達成し、かつ利用中の安全性・快適性を享受することができる。自家用車の使用を控えることで、交通渋滞の緩和、大気汚染の軽減を図ることにつながり、さぬき市全体の環境保全に寄与する。						利用者の意見・要望等の把握により、ルート・ダイヤの見直し及び受益者負担としての運賃規定を見直す必要がある。コミュニティバス形式という運行形態を見直し、一部福祉タクシーのチケットとの複合事業として検討することも必要。	利用者、市民の多様なニーズに対応していくため、利用者の意見を聞き、また、ルート・ダイヤ及び運賃の見直しを検討し、公共交通機関として事業展開を進めていく。	継続する
事業名										
コミュニティバス運行事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績			
	利用者数	人	141,400	151,383						
	利用料金(運賃収入等)	千円	5,970	6,250	総コスト	84,838	87,135			
所管課					直接事業費	78,919	78,836			
都市計画課					人件費	5,919	8,299			
					特定財源	17,184	18,891			
					一般財源	67,654	68,244			
05305	利用者等	利用者(特に市街地住民等)の駐車場を確保できる。						-	市民・利用者にCATV・広報紙及びさぬき市ホームページで周知し、利用率の向上に努める。	継続する
事業名										
津田中央駐車場管理業務	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績			
	利用率	%	86.0	82.0						
					総コスト	1,598	1,604			
所管課					直接事業費	0	0			
都市計画課					人件費	1,598	1,604			
					特定財源	0	0			
					一般財源	1,598	1,604			
05307	当該路線等の利用者	現状の当該公共交通機関を維持、又は活性化することで、利用者の利便性を確保できる。						-	-	継続する
事業名										
公共交通機関支援事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績			
					総コスト	1,442	1,886			
所管課					直接事業費	564	282			
都市計画課					人件費	878	1,604			
					特定財源	0	0			
					一般財源	1,442	1,886			
05314	公共交通機関を利用するため、当該駐車場に駐車する利用者	マイカー利用者の公共交通機関への転換を促進し、交通渋滞の緩和、大気汚染の軽減を図る。						利用率向上のために、更なる利用者の安全性・利便性の確保対策、特に不法駐車等の取り締まりの強化が必要である。	市民・利用者にCATV・広報紙及びさぬき市ホームページで周知し、利用率の向上に努めるほか、不法駐車等の取り締まりの強化を行う。	継続する
事業名										
パーク・アンドライド駐車場管理事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績			
	利用率	%	65.0	67.0						
					総コスト	4,016	2,917			
所管課					直接事業費	257	226			
都市計画課					人件費	3,759	2,691			
					特定財源	257	226			
					一般財源	3,759	2,691			

資料2 事務事業評価(自己評価)結果

事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図						今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性
05051	市道を利用する支所管内市民	市道を安全な状態に管理し、市民の安全な通行を図る						-	・支所管内くまなくの巡回には限界があり、市民の通報等にすばやく対応し現場確認をする。	継続する
事業名										
市道の維持補修業務(津田支所)	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績			
	軽微な維持補修件数	件	100	68	総コスト	4,372	3,838			
所管課					直接事業費	0	0			
					人件費	4,372	3,838			
津田支所	数値化できない成果				特定財源	0	0			
					一般財源	4,372	3,838			
05061	市道を利用する支所管内市民	危険箇所を確認し、早期に現状回復を行い、安全な状況にする						-	支所職員の減により人手不足な状況ではあるが、簡易な修繕については今後も支所でも対応したい。	継続する
事業名										
市道の維持補修業務(大川支所)	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績			
	市道の点検・パトロールの回数	回	24	20	総コスト	7,471	5,253			
所管課					直接事業費	0	0			
					人件費	7,471	5,253			
大川支所	数値化できない成果				特定財源	0	0			
					一般財源	7,471	5,253			
05072	市道を利用する支所管内市民	市道を安全な状態に管理し、市民の安全な通行を図る						本庁所管課とともに市道の巡回を継続する。	本庁所管課と連携を密にし、市道管理の不備による事故を未然に防止する。	継続する
事業名										
市道の維持補修業務(寒川支所)	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績			
	市道の軽微な維持補修業務	箇所	60	218	総コスト	6,994	3,856			
所管課					直接事業費	0	0			
					人件費	6,994	3,856			
寒川支所	数値化できない成果				特定財源	0	0			
					一般財源	6,994	3,856			
05085	市道を利用する支所管内市民	市道を安全な状態に管理し、市民の安全な通行を図る						・老朽化した舗装路も多いため、市道の巡回を一層強化する。 ・軽微な維持(穴埋め)では不十分な路線もあり、本庁担当課と協議の下、全面及び片面の舗装修繕が必要である。	・市道管理の不備による事故を未然に防止するため、市道の巡回監視を強化する。	継続する
事業名										
市道の維持補修業務(長尾支所)	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績			
	軽微な維持補修業務件数	件	180	76	総コスト	7,190	2,873			
所管課					直接事業費	0	0			
					人件費	7,190	2,873			
長尾支所	数値化できない成果				特定財源	0	0			
					一般財源	7,190	2,873			
05258	林業施設利用者及び地域住民	森林の維持造成を通じて山地に起因する災害等から生命・財産を保全するとともに、山間地域の生活基盤道の一端を担う。						治山林道等森林土木関係の専門知識及び技術を兼ね備えた職員の配置がなされていないため、設計、施工段階において、事業実施者に対し、技術的な指導、助言が正確に伝わらないことがある。	多目的機能を有する森林の適切な整備及び保全を図る上で林道の整備は必要である。特に治山は山崩れや土砂流失等の災害防止に大きな役割を果たすことから、順次、整備を検討していきたい。	継続する
事業名										
治山林道事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績			
	林道開設事業進捗率	%	64	68	総コスト	116,697	100,647			
所管課					直接事業費	110,381	94,937			
					人件費	6,316	5,710			
農林水産課	数値化できない成果	利用者の増加、事故の減少			特定財源	68,803	53,644			
					一般財源	47,894	47,003			

資料2 事務事業評価(自己評価)結果

事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図						今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性
05302	市道利用者	市民生活における利便性、安全性などの向上を図るため、生活道路の改良を計画的に進める。						道路の改良は、業務の性格上効率性だけを追求することは出来ないが、新工法や新技術などを取り入れて、低コストで効率性を上げていきたい。老朽化している橋梁について、耐震補強を含めた整備計画の早期確立が必要である。	道路の拡幅等は地権者、関係者の協力、同意等が最優先のことから、市内交通道路網の整備には改良路線数が多く、時間と費用がかかっている。そのため、早く効果が出るよう路線の事業費を増やし早期完成を目指したい。	継続する
事業名	市道利用者	市民生活における利便性、安全性などの向上を図るため、生活道路の改良を計画的に進める。								
道路橋梁新設改良事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)					
	市道馬次下大井線新設工事進捗率	%	100.0	100.0	計画	実績				
	道路改良工事進捗率	%	100.0	100.0	総コスト	243,645 238,005				
所管課					直接事業費	225,305 220,493				
建設課					人件費	18,340 17,512				
	数値化できない成果					特定財源	212,650 207,960			
						一般財源	30,995 30,045			
05303	市道利用者	市道を常時良好に保ち、一般交通に支障を及ぼさないよう路面修繕、路肩修繕工事等の維持修繕を行う。						工事の設計図書の作成を積算ソフトを導入することにより、設計コストの削減を図りたい。市道の維持管理をしていく上で、必要な予算の確保。	道路パトロールを定期的に行っているが、自治会、市職員の協力も得て、路面陥没や、路肩崩壊等の早期発見に努め、修繕等に速やかに対処しているが、修繕計画や地域要望等の諸問題について優先順位を決定し今後も施工していきたい。	継続する
事業名	市道利用者	市道を常時良好に保ち、一般交通に支障を及ぼさないよう路面修繕、路肩修繕工事等の維持修繕を行う。								
道路橋梁維持管理事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)					
	工事進捗率	%	100.0	100.0	計画	実績				
					総コスト	117,399 115,892				
所管課					直接事業費	99,023 95,044				
建設課					人件費	18,376 20,848				
	数値化できない成果	単価当たりコストの削減に努める				特定財源	10,976 10,677			
						一般財源	106,423 105,215			
05316	下水道を利用する市民	効率のかつ強固な管渠の布設、計画通りの完成を目指し、浸水被害の軽減を行う。						-	普及率の向上に向け受益者世帯に下水道に接続を促進するために、広報、お知らせ等を実施し水洗化率の向上を図っていきたい。	継続する
事業名	下水道を利用する市民	効率のかつ強固な管渠の布設、計画通りの完成を目指し、浸水被害の軽減を行う。								
管渠築造及びポンプ場建設事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)					
	整備率	%	56.0	52.0	計画	実績				
	普及率(下水道事業指標)	%	37.0	37.0	総コスト	888,975 826,759				
所管課					直接事業費	851,199 795,463				
下水道課					人件費	37,776 31,296				
	数値化できない成果	施工中の現場管理				特定財源	796,030 788,962			
						一般財源	92,945 37,797			
05317	下水道を利用する市民	不具合なく下水道機能を維持できるように管渠等の修繕を確保する。処理水の適正な水質管理を確保する。						-	下水道使用料、受益者負担金の本年度に詳しく検討し改定に向けて準備を行う	継続する
事業名	下水道を利用する市民	不具合なく下水道機能を維持できるように管渠等の修繕を確保する。処理水の適正な水質管理を確保する。								
下水道施設等維持管理業務	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)					
	水洗化率	%	77.0	79.0	計画	実績				
					総コスト	307,955 290,207				
所管課					直接事業費	301,994 284,027				
下水道課					人件費	5,961 6,180				
	数値化できない成果	維持管理は未来永劫続くもので目標値・目標年度を設定することは難しい。				特定財源	210,570 267,944			
						一般財源	97,385 22,263			
05318	下水道を利用する市民	不具合なく下水道機能を維持できるように管渠等の修繕を確保する。処理水の適正な水質管理を確保する。						-	1.普及率・水洗化率の向上、公共用水域の水質保全に努めていきたい 2.下水道使用料について本年度に詳しく検討し改定に向けて準備を行う	継続する
事業名	下水道を利用する市民	不具合なく下水道機能を維持できるように管渠等の修繕を確保する。処理水の適正な水質管理を確保する。								
下水道施設等維持管理業務(農集)	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)					
	水洗化率	%	87.0	87.0	計画	実績				
					総コスト	54,533 50,882				
所管課					直接事業費	48,700 44,702				
下水道課					人件費	5,833 6,180				
	数値化できない成果	維持管理は未来永劫続くもので目標値・目標年度を設定することは難しい				特定財源	23,321 23,231			
						一般財源	31,212 27,651			

資料2 事務事業評価(自己評価)結果

事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図						今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性
05319	下水道を利用する市民	適正な管路計画に基づいた事業を実施し、早期に完了することにより、対象地区の生活環境の改善を図る。						他事業(補償工事等)との調整を十分に に行い事業を実施していく。また、事業 実施における、工事請負業者等への 工程管理等の指導を十分に行う。	普及率の向上に向け受益者世帯に下 水道に接続を促進するために、広報、 お知らせ等を実施し水洗化率の向上 を図っていきたい。	継続する
事業名	下水道を利用する市民	適正な管路計画に基づいた事業を実施し、早期に完了することにより、対象地区の生活環境の改善を図る。								
管渠築造及びポンプ場建設事業(漁集)	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)					
	普及率(下水道事業指標)	%	1.0	1.0	計画	実績				
					総コスト	138,445 124,668				
					直接事業費	133,486 114,465				
所管課					人件費	4,959 10,203				
下水道課					特定財源	127,250 108,289				
	数値化できない成果	施工中の現場管理			一般財源	11,195 16,379				
05320	下水道を利用する市民	不具合なく下水道機能を維持できるように管渠等の修繕を確保する。処理水の適正な水質管理を確保する。						-	1.普及率・水洗化率の向上、公共用水域の水質保全に努めていきたい 2.下水道使用料、受益者負担金について本年度に詳しく検討し改定に向けて準備を行う	継続する
事業名	下水道を利用する市民	不具合なく下水道機能を維持できるように管渠等の修繕を確保する。処理水の適正な水質管理を確保する。								
下水道施設等維持管理業務(漁集)	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)					
	水洗化率	%	75.0	32.0	計画	実績				
					総コスト	15,551 12,089				
					直接事業費	9,718 9,055				
所管課					人件費	5,833 3,034				
下水道課					特定財源	3,061 3,493				
	数値化できない成果	維持管理は未来永劫続くもので目標値・目標年度を設定することは難しい			一般財源	12,490 8,596				
05321	浄化槽を利用する市民	効率的な浄化槽の設置により生活排水の処理を行う。						-	設置後の維持管理面について香川県浄化槽センターと連携を図り、公共用水域の水質保全に努めていきたい。	継続する
事業名	浄化槽を利用する市民	効率的な浄化槽の設置により生活排水の処理を行う。								
浄化槽設置補助事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)					
	設置基数	基	242	159	計画	実績				
					総コスト	142,762 95,340				
					直接事業費	135,838 88,103				
所管課					人件費	6,924 7,237				
下水道課					特定財源	52,460 36,898				
	数値化できない成果				一般財源	90,302 58,442				
05308	都市計画区域内の住民・区域内を往来する住民(通勤・通学者を含む)	当該住民が、都市計画に沿った居住空間等の整備により、快適な生活環境を確保できるとともに、当該住環境の向上を助成する。						さぬき市の将来構想を把握した都市計画区域や用途地域の見直し及び都市計画道路の変更等を検討する。	さぬき市の現状、市民のニーズ、また、さぬき市都市計画区域マスタープラン及びさぬき市総合計画を上位計画として策定した、さぬき市都市計画マスタープランを基本として事業を進めていく。	継続する
事業名	都市計画区域内の住民・区域内を往来する住民(通勤・通学者を含む)	当該住民が、都市計画に沿った居住空間等の整備により、快適な生活環境を確保できるとともに、当該住環境の向上を助成する。								
都市計画策定事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)					
	計画の進捗率(都市計画区域の変更)	%	30.0	30.0	計画	実績				
	計画の進捗率(都市計画道路の決定変更)	%	30.0	5.0	総コスト	11,151 6,329				
	計画の進捗率(用途地域の変更)	%	30.0	5.0	直接事業費	753 586				
所管課					人件費	10,398 5,743				
都市計画課					特定財源	629 682				
	数値化できない成果	都市計画マスタープランの検証(随時)、都市計画図作成のための検討回数			一般財源	10,522 5,647				
05309	許可申請者等	申請者等が、法令等に適合した開発許可等を受けることで、当該開発等の着手が可能となる。						開発行為に伴う許可審査及び建築確認申請の進達等に係る事務を迅速かつ確実に処理する必要がある。また、開発指導要綱の見直しについても検討する必要がある。	都市計画法の改正により、開発行為に伴う許可審査及び開発指導要綱の見直しについても検討する必要がある。	継続する
事業名	許可申請者等	申請者等が、法令等に適合した開発許可等を受けることで、当該開発等の着手が可能となる。								
都市計画関連事業(許可等申請業務・その他業務)	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)					
	開発行為に伴う許可書・証明書の発行業務	件	15	13	計画	実績				
	用途地域証明業務	件	3	11	総コスト	5,559 4,502				
	開発許可審査業務	件	3	2	直接事業費	0 0				
所管課					人件費	5,559 4,502				
都市計画課					特定財源	0 0				
	数値化できない成果	開発後の残地管理業務			一般財源	5,559 4,502				

資料2 事務事業評価(自己評価)結果

事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図						今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性	
05311	当該志度駅関連施設利用者及び周辺住民	利用者が、安全性・快適性を享受できるとともに利用促進を助成する。また、周辺地域の快適な住環境が確保できる。						利用者の安全性及び利便性の確保を重視し、より快適に利用できるよう検討する必要がある。	JR志度駅を利用する市民また来客者が、快適に利用できるよう施設の管理に努める。	継続する	
事業名	志度駅関連施設管理事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画				実績
		利用状況(駐輪台数等)	%	80.0	75.0	総コスト	6,002				6,087
		利用状況(公共交通利用者等)	人	2300	3525	直接事業費	4,044				3,686
						人件費	1,958				2,401
						特定財源	111				114
所管課						一般財源	5,891	5,973			
都市計画課		数値化できない成果   自由通商 駐輪場清掃 管理業務 自由通商防犯管理 エレベーター 浄化槽 消防設備管理業務 設置自転車置き場									
05312	当該街路を利用する市民等及び周辺住民	利用者が、当該街路の安全性・快適性を享受できるとともに、利用促進を助成する。また、周辺住民の快適な環境を確保する。						家屋移転補償について年度内移転を目指して協議を重ねたが、移転先等の決定に不測の日時を要し年度内完了が実施できなくなり翌年度への繰越となった。(契約繰越)	県道高松志度線とJR志度駅を結ぶ、都市計画道路市道志度駅南中央線と志度駅南駅前広場の整備の早期完成に努める。	継続する	
事業名	都市計画事業(街路整備事業)	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画				実績
		工事の進捗率	%	70	78	総コスト	157,714				105,757
						直接事業費	151,841				95,449
						人件費	5,873				10,308
						特定財源	147,200				93,983
所管課						一般財源	10,514	11,774			
都市計画課		数値化できない成果									
05313	当該駐車場利用者・周辺住民	利用者が、安全性・快適性を享受できるとともに、利用促進を助成する。また、周辺地域の快適な住環境が確保できる。						利用者の安全性・利便性の確保、特に不法駐車等の取り締まりの強化が必要である。	高速バス・志度バスストップ利用者の駐車場としての管理に努める。	継続する	
事業名	バスストップ駐車場管理業務	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画				実績
		駐車場利用率(志度)	%	100.0	90.0	総コスト	3,324				3,318
		高速志度バスストップ乗降者数	千人	93.0	92.0	直接事業費	1,726				1,641
						人件費	1,598				1,677
						特定財源	330				257
所管課						一般財源	2,994	3,061			
都市計画課		数値化できない成果   自動販売機設置業務									
05342	水道を使用する市民	水道使用料を徴収し水道事業に充てる。						水道料金システムが古いため、料金調定や滞納管理との連携がとれずらくなっているため、今後改善の余地がある。平成19年度で水道料金システムの見直しを予定している。	水道事業の重要な収入源である水道料金業務の効率的な運用のため、水道料金電算システムの拡充を図る。	継続する	
事業名	水道料金業務	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画				実績
		検針業務、検針件数	件	125,300	127,388	総コスト	58,042				56,343
		使用料督促	件	4,155	4,557	直接事業費	34,042				32,050
		1立米当たりコスト	円	188	171	人件費	24,000				24,293
		水道使用料の徴収率(現年)	%	97.04	96.23	特定財源	58,042				56,343
所管課						一般財源	0	0			
水道局監理課		数値化できない成果									
05343	水道を使用する市民	水道施設、管路、量水器等の情報を地図検索が可能なシステムを構築することにより、修繕等について速やかに対応できるようになる。						-	水道施設、管路、量水器等の情報を地図情報システム化することにより、住民に対するサービス及び緊急時の対応が迅速に行える。また、計画的な情報更新を実施することにより、利便性の向上をはかる。平成19年度からシステム運用する。	継続する	
事業名	地図情報システム作成業務	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画				実績
		システム化進捗率	%	95.0	95.0	総コスト	13,112				13,107
						直接事業費	12,012				12,012
						人件費	1,100				1,095
						特定財源	13,112				13,107
所管課						一般財源	0	0			
水道局監理課		数値化できない成果									

資料2 事務事業評価(自己評価)結果

事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図						今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性
05344	水道を使用する市民	5、10ヶ年の中・長期に係る水道事業全体基本計画を策定し安全でおいしい水の安定供給を行う。						-	安全・快適な水の供給や、災害時にも安定的な給水を行うための施設水準の向上等に向けた取組みが求められている。 このために、水道事業を取り巻く環境を総合的に分析し、10ヵ年後を見据えた基本計画を19年度中に策定する。	継続する
事業名	水道を使用する市民	5、10ヶ年の中・長期に係る水道事業全体基本計画を策定し安全でおいしい水の安定供給を行う。								
全体基本構想策定事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)					
					計画	実績				
					総コスト	17,785	1,398			
所管課					直接事業費	15,000	0			
					人件費	2,785	1,398			
水道局監理課					特定財源	17,785	1,398			
	数値化できない成果	毎年度に計画の見直しを行っているが、10ヵ年後を見据えた全体基本計画を策定する。				一般財源	0	0		
05345	市民	水道事業の水質検査、財政状況の公表など市民に向け情報を開示する。						市のホームページにおいて掲示している水質検査結果等の更新を定期的に変更し、その他の情報についても、掲載内容の見直し、追加を行う。	市民に情報を積極的に公開するとともに、情報処理に関する職員の能力開発を図る。	継続する
事業名	市民	水道事業の水質検査、財政状況の公表など市民に向け情報を開示する。								
情報公開業務	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)					
	HP更新回数	回	13	7	計画	実績				
					総コスト	1,250	1,766			
所管課					直接事業費	0	0			
					人件費	1,250	1,766			
水道局監理課					特定財源	1,250	1,766			
	数値化できない成果					一般財源	0	0		
05346	水道を使用する市民	多和、前山の一部及び三木中山の一部を対象とした水道給水事業						三木町分の維持管理費負担金について、今後検討の余地がある。	簡易水道事業の効率的な運営のため、水道料金電算システムの拡充を図る。	継続する
事業名	水道を使用する市民	多和、前山の一部及び三木中山の一部を対象とした水道給水事業								
簡易水道事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)					
	検針件数	件	3,700	1,862	計画	実績				
	水質検査回数	回	380	379	総コスト	22,540	21,140			
所管課					直接事業費	17,294	17,823			
					人件費	5,246	3,317			
水道局監理課					特定財源	13,074	14,245			
	数値化できない成果					一般財源	9,466	6,895		
05347	水道を使用する市民	安全で安定的な水道水の供給のため適正な施設管理を行う。原水・浄水・配水の水質検査、電気保守点検、浄水・配水設備の維持管理を行なう。						配水池の清掃について、毎年計画的に実施したい。	水道水の水質検査をより一層充実させ、水道水中のクリプトสปォリジウム等対策を講じていきたい。	重点的に継続する
事業名	水道を使用する市民	安全で安定的な水道水の供給のため適正な施設管理を行う。原水・浄水・配水の水質検査、電気保守点検、浄水・配水設備の維持管理を行なう。								
水道施設維持管理業務	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)					
	水質検査に係るコスト	円	18,620	17,884	計画	実績				
	浄水場・ポンプ場等の修繕件数	件	70	67	総コスト	421,858	381,394			
所管課					直接事業費	406,374	370,038			
					施設電気保守点検に係るコスト	14,600	11,663			
水道局工務課					人件費	15,484	11,356			
	数値化できない成果	浄水場の汚泥採取に係るコスト				特定財源	421,858	381,394		
					一般財源	0	0			
05348	水道を使用する市民	湧水対策事業を行い湧水に対応出来る町作りを目指す。						県道志度・山川線の一部で連絡管の未布設箇所があり、早急な改善が求められている。	現地を調査し、次年度上半期に管路整備に努める。	継続する
事業名	水道を使用する市民	湧水対策事業を行い湧水に対応出来る町作りを目指す。								
湧水対策事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)					
	水道連絡管の布設	m	980	171	計画	実績				
					総コスト	77,163	6,821			
所管課					直接事業費	69,960	3,020			
					人件費	7,203	3,801			
水道局工務課					特定財源	77,163	6,821			
	数値化できない成果					一般財源	0	0		

資料2 事務事業評価(自己評価)結果

事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図							今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性
05349	水道を使用する市民	原水取水及び浄水場の建設改良を行い安全でおいしい水の安定供給を行う。							紫外線滅菌装置については、国の補助対象事業の基準改正により先に見送りをした。滅菌については、最も重要項目であるため調査を行い実施して行きたい。	水道事業認可変更業務を計画しており、施設改良・施設整備等の年次計画を建て施設改善に努めたい。	完了する
事業名											
取水及び浄水場建設改良事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績				
	水源濁度計設置工事進捗率	%	100.0	100.0	総コスト	119,707	86,823				
	紫外線滅菌装置設置工事進捗率	%	100.0	0.0							
浄水場活性炭注入施設工事進捗率	%	100.0	100.0								
所管課					直接事業費	107,690	73,084				
水道局工務課					人件費	12,017	13,739				
	数値化できない成果				特定財源	119,707	86,823				
					一般財源	0	0				
05350	水道を使用する市民	配水及び給水設備の建設改良を行い安全でおいしい水の安定供給を行う。							-	水道事業区域内に、石綿管が未改良で残っており、残延長箇所を早急に図って行きたい。	継続する
事業名											
配水及び給水施設建設改良事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績				
	六番配水池県水共同施工進捗率	%	100.0	100.0	総コスト	654,329	478,700				
	配水管改良工事延長	m	1,962	1,417							
県道配水管改良工事延長	m	1,810	337								
所管課	下水道工事に伴う配水管改良工事延長	m	1,285	3,123	直接事業費	631,378	460,404				
水道局工務課					人件費	22,951	18,296				
	数値化できない成果				特定財源	654,329	478,700				
					一般財源	0	0				
05021	受益を受ける市民	舗装等未整備箇所について改良工事を実施し、生活環境の向上を図る。							-	-	継続する
事業名											
生活環境整備事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績				
	施工箇所数	箇所	25	27	総コスト	47,456	43,479				
所管課					直接事業費	40,000	35,907				
管財課					人件費	7,456	7,572				
	数値化できない成果				特定財源	0	0				
					一般財源	47,456	43,479				